

神戸市外大×外務省勤務の卒業生有志プロジェクト

「Gaidai Spirit: From KCUFS to MOFA」始動!

この度、外務省に勤務している本学卒業生有志と連携し、在校生と外務省勤務の卒業生有志が多面的・多角的につながるプロジェクト「Gaidai Spirit: From KCUFS to MOFA」を始動させました。外務省に勤務する卒業生有志と大学が、年間を通じて継続的に取り組む本プロジェクトはこれまでにない画期的な試みです。

本プロジェクトのキックオフを記念し、外務省職員による定期講演会シリーズ「外交官と一緒に日本と世界を考える」第1弾として、外務省の岡野正敬事務次官を講師に「外交への招待状」と題した記念講演会、及び、学生とのフリートークを開催した他、授業連携シリーズ「ふかぼり外務省」や座談会「キャリサポランチトーク」など様々な企画を実施しています。



外務省で働く卒業生からのメッセージ



2009年3月ロシア学科卒業

現在の仕事内容

モスクワでの語学研修、在ウズベキスタン大使館、在ロシア大使館での計7年にわたる海外勤務を経て、2022年8月から本省欧州局ロシア課で勤務しています。

現在は主に、日本とロシアの間の漁業協定に基づく交渉や操業に関わる問題を担当しています。協定に基づき日本の漁業者の皆様が北方四島周辺水域やロシア水域で操業を行っているのですが、操業機会の確保や安全な操業のために、関係省庁と連携し、色々な考慮事項を踏まえながら対応を検討しています。漁業交渉の際には日ロ通訳も担当します。

また、北方領土問題に関わる案件も担当しており、最近では、元島民とその後継者の皆様の「せめて四島の近くで慰霊したい」という切実な思いに応えるために実施されている洋上慰霊に参加させていただきました。

メッセージ

自分の進む道に悩んでいる方がおられると思います。悩むことはエネルギーが必要で、時には辛いこともあると思います。でも、悩むことは誰でもあって、自分に向き合い成長する上で必要なプロセスです。「どうしたらいいのかわからない」「自分がどうしたいのかわからない」ということについて、自分の内側に向き合い、自分もつ感性や価値観に出会いながら、進む道を選択する。努力してもほしい結果を得られない時もあると思います。自分自身の考え方も年齢によって変わることもあります。それでもその当時、しっかり考えて出した道を選択していれば、プロセスの過程で得られるものもあるでしょうし、何よりも振り返った時に納得できるのではないかと思います。



2024年3月ロシア学科卒業

現在の仕事内容

私が所属している部屋で見ている OECD は、38 の加盟国を擁する国際機関で、経済・社会分野の政策についてルール作りをリードしています。OECD は先進国のみが加盟した国際機関と捉えられがちですが、最近は中南米の国々が加盟したり、東南アジア諸国の加盟手続きが開始されるなど、加盟拡大が進んでいます。私は、特にこうした加盟拡大の動きを日本が中心となって主導できるように様々な取り組みを推進しております。

メッセージ

私は、外大生に「皆さんの未来は明るい!」と言いたいと思います。皆さんは、ご自身が思っている以上に素晴らしいポテンシャルを持ち、貴重な時間を過ごしています。それ故に、皆さんには大きな夢を抱き、その夢のためにぜひ努力してほしいと思います。大学時代は、人生の中ですごく短い期間であるにもかかわらず、ここで何をし、何を学んだのかが後の人生に大きくかかわってきます。外大は、皆さんの大きな夢をかなえるために、最適で最良のものを与えてくれる場所です。この機会をおさなりにせず、たくさんの方を外大で学んで、大きな夢へと歩みだしてほしいと思います。

